

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28 年 7 月 21 日			
所属学部・研究科	総合科学学部/研究科 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ネバダ大学 (国名: アメリカ)			
所属学部・学科等名				
在籍身分	IELC			
留学期間	平成 27 年 8 月 16 日 ~ 平成 28 年 5 月 13 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: F-1			
	ビザ申請先: 大阪			
	取得方法, 提出書類: 成績証明書など			
	手続きに要した日数: 2週間			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 27 年 8 月 16 日			
経路	伊丹→成田→ロサンゼルス→リノ			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	1日間 大学でのイベント、周りの治安状況など			
帰国年月日	平成 28 年 5 月 13 日			
経路	リノ→ダラス→成田			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	136万	円	
	内訳	渡航費	30万	円
		保険料	5万	円
		教科書代(学費)	3万	円
		宿舍費	60万	円
		食費	18万	円
		その他 ( 旅 費 ) ( 費 ) ( 費 )	20万	円 円 円
<b>3. 授業について</b>				
2015 年 春学期	8 月 日 ~ 12 月 日			

2016年 秋学期	1月 日 ~ 5月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	IELCの授業は月～金まで毎日ありました
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	毎日宿題があるので, 授業が終わったらすぐにやるようにしたいと思います。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (シェアハウス)
住居の広さ	約 <input type="text"/> m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 ( 8 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり 540ドル(現地通貨) 約 6万 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 広島大学のすすめ )
留学先での住居全般に関するアドバイス	私の家は大学から近く、さらに一人部屋だったので高かったのもっと安くしたい人はできるとおもいます。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	ネバダ大学が指定してきたものを受けました。3回ほど, 小児科で受けました。健康診断も受けました。
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	病院にいかなかったためわかりません。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	とくにありませんが、腐ってそうなものは口にしないようにしていました。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
そんなにありませんでしたが、夜一人でダウンタウンを歩くことは避けていました。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
シェアハウスに住む方は、不満な点があれば住人に言うようにしたらいいと思います。わたしも本人に直接言っていました。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 29年 3月	(当初の卒業予定年月 平成 29年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	就職活動をしています。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	留学前にできるだけ単位を取得していました。	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
3年次で留学し、かつ留年しない人、院に行かない人は、早めに就職活動について考えておいたほうが良いと思います。留学前でも大学でセミナーや講座をしているのでそれに参加していれば、帰国後あせることは少なくなると思います。		

## 学習の概要に関するレポート

私は IECL で、はじめの **Spring Semester** はリーディング・ライティングもスピーキング・リスニングの授業も **LA** という、上から 2 番目のクラスに所属していました。**Fall Semester** になると **HA** という一番上のクラスになりました。また **Fall Semester** からは **Women's Studies** というアカデミックの授業をアメリカ人学生と一緒に受けていました。IELC からアカデミックの授業を受けるには、2 セメスター以上在籍していて、かつ **HA** であること、成績が条件に満たしていることなどがあるので、**IELC** に所属しながらアカデミックの授業も受講したいという人は、先生に聞いてみたらいいと思います。

**IELC** ではリーディング・ライティングの授業とスピーキング・リスニングの授業に加え、**Integrated Skill Class** という授業がありました。これは自分の興味のある授業を選択できるものです。普段のクラスのメンバーとは違う人と一緒に授業を受けることができるので交友関係が広がります。リーディング・ライティングの授業とスピーキング・リスニングの授業では基本的に毎日宿題が出るので、授業が終わったら毎日図書館に行って課題をこなしていました。また同じシェアハウスに住んでいた人で **IELC** に所属していた人がいたので、プレゼンの発表があるときはお互いのプレゼンの練習をしたこともあります。

**Women's Studies** は、週に 2 日ありました。私は毎週火曜日と木曜日でした。(同じ **Women's Studies** でも曜日や時間帯、教授が異なるものもあります) 先生の話の聞いたり、たまにディスカッションがありました。またレポートは 2 回提出しました。**IELC** の先生はこちらの理解度を確認しながら授業を進めてくれますが、もちろんアカデミックの授業はアメリカ人学生がほとんどなので、こちらの理解度を確認してくれることは少ないです。また授業によっては専門用語が出てくるので、それについて勉強しておくことも大事だと思います。私の受けた授業では先生が事前に次の授業では教科書のこのへんについてやります、というのを言ってくれていたなので、予習をしておくようにしていました。

**IELC** では、金曜日は午前中に授業が終了するので、金曜日の午後からは毎週イベントがありました。ボーリングやアイスクリームパーティー、コーヒーを飲みながらおしゃべりするもの、ジェンガをして遊ぶもの、プラネタリウムに行くものなどです。イベントにも積極的に参加することで先生方ともっと仲良くなれるし、クラスがちがう人と仲良くなれるし、スピーキングの練習にもなります。

## 生活の概要に関するレポート

広島大学が進めてくださった、インターナショナルハウスというシェアハウスに住んでいました。大学から非常に近く、わたしの部屋から大学が目の前、という立地でした。また一人部屋だったので、ルームシェアしているひととのトラブルはありませんでした。個人的には家も部屋も気に入っていました。大学から近いので休日に図書館に行こうと思えばすぐに行けるし、一人部屋なのでほかの人を気にすることなく眠れたし、一人になりたいときはひとりになれたからです。家には最大で8人まで住むことができ、わたしが住んでいたときは常に6～8人で住んでいました。Fall, Springの両Semesterと通して、中国人、韓国人、マレーシア人、ペルー人、バングラデシュ人の方たちと暮らしていました。私のような交換留学の人もいたし、自国の大学を卒業してネバダ大学に入学した人や40代の方などほんとうにさまざまでしたが、自分の国を離れてアメリカで生活をしているという点や母語が英語ではないという点ではみんな共通しているので、仲良くなれました。言いたいことがあってもうまく言えなかったりするのはお互いさまなので、お互いを理解しようという気持ちも強かったと思います。またシェアハウスということで同じ家の中国人や韓国人の方が自国の料理をふるまってくれたこともありました。キッチンも広がったので、料理をよくするというひとにはちょうどいいと思います。

ショッピングはダウンタウンにあるバス乗り場からモールに行っていました。服のお店があったりフードコートがありました。わたしは冬になったら冬服を日本から親に送ってもらいましたが、それが難しいという人は、モールで服が買えるので心配しなくても大丈夫です。ちなみに私は冬服を親に送ってもらい、帰る直前にいらぬ服などを捨てて、必要だけドスーツケースに入らないものは大学内にある郵便局から日本に送りました。

スーパーは、コンビニのようなものを除き、徒歩圏内にはありません。最初のセメスターの間は、インターナショナルのスタッフに頼めばいつでも車で買い物に連れて行ってくれていましたが、なぜか次のセメスターからはそれができなくなってしまったので、大学から毎週日曜日に出ている無料のバスを利用していました。平日で行くときは友達と一緒にバスで行ったり、Uberを使ったりしていました。行きたいときにさっと行けるわけではなかったので少し不便なように思われるかもしれませんが、わたしはあまり料理を煮るほうではなかったし、行ったときに大量に買えばいいだけなので、個人的にはそんなに不便に思いませんでした。



バルーンフェスティバルの様子